

○ 「福島県の災害廃棄物等の処理進捗状況についての総点検」(平成25年9月10日)を踏まえ、対策地域内廃棄物処理計画(以下「処理計画」という。)の見直し(平成25年12月26日)を行い、処理計画に基づき災害廃棄物等の処理を実施中。

- 平成27年度までに、帰還困難区域を除いて、津波がれきの仮置場への搬入、特に緊急性の高い被災家屋等の解体・仮置場への搬入、帰還の準備に伴って生じる家の片付けごみの一通りの回収について完了。
- その他の、被災家屋等の解体及び継続的に排出される片付けごみの回収については、引き続き対応しているところ。

災害廃棄物等の仮置場への搬入は、平成28年9月末時点で、約103万トン完了(うち、約16万トンが焼却処理済、約41万トンが再生利用済)。搬入された災害廃棄物等は可能な限り再生利用を行っている。種類別の処理の状況は次のとおり。

(1) 津波による災害廃棄物の処理

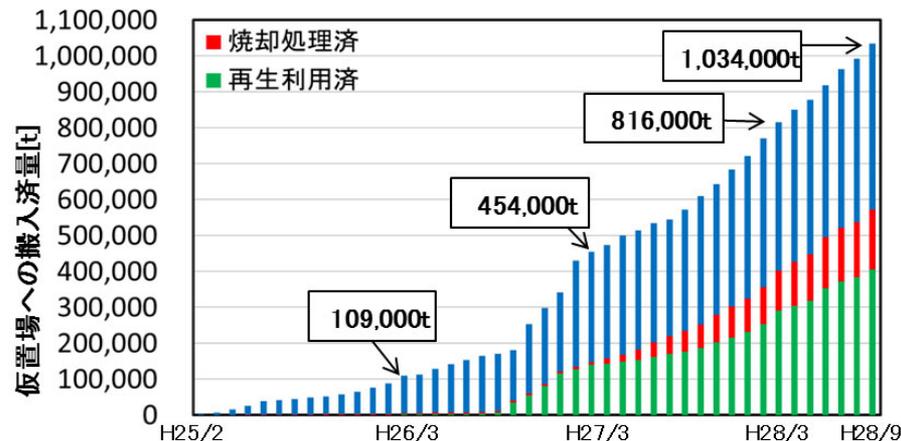
○ 平成28年3月に、帰還困難区域を除いて津波がれきの撤去と仮置場への搬入を完了。搬入された廃棄物は、重機等により破碎・選別処理を実施。

(2) 被災家屋等の解体撤去

○ 被災家屋等の解体関連受付・調査を行い、順次解体撤去を実施中。解体撤去申請は約9,500件受付済であり、解体工事公告済は約7,300件、うち、解体撤去済は約4,100件。

(3) 片付けごみの処理

○ ステーション回収や戸別回収訪問を行っており、戸別回収については、希望者と日程を調整の上、回収を実施。



対策地域内の災害廃棄物等の仮置場への搬入済量

注) 仮置場へ搬入せずに処理する量も含む。



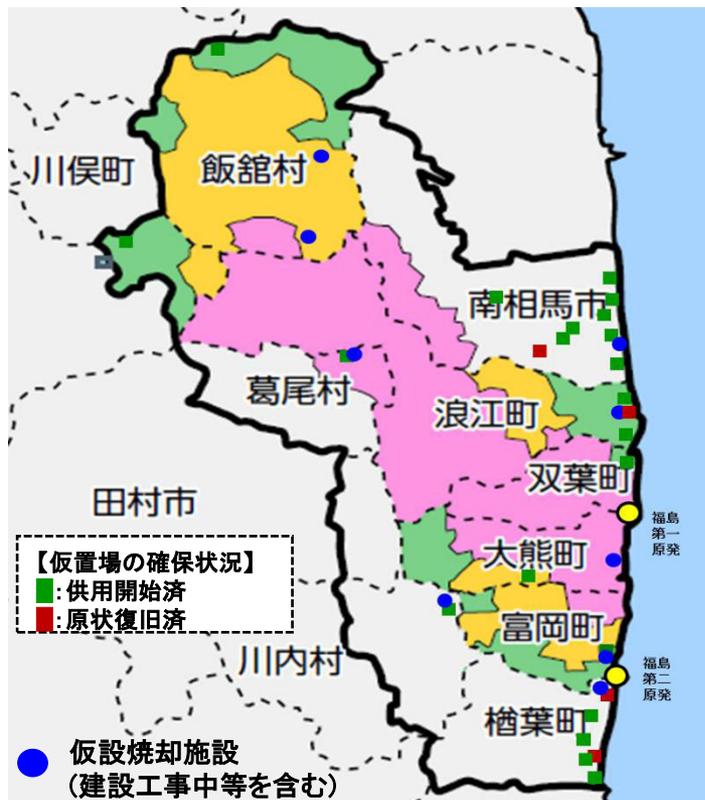
撤去前(平成26年7月)



撤去後(平成28年3月)

浪江町における津波がれきの撤去状況

国直轄による福島県における仮置場と仮設焼却施設の設置状況(平成28年10月28日時点)



【仮置場の確保状況】
■: 供用開始済
■: 原状復旧済

● 仮設焼却施設
 (建設工事中等を含む)

汚染廃棄物対策地域
 避難指示解除準備区域
 居住制限区域
 帰還困難区域

- (1) 仮置場の確保状況
- 当面必要な仮置場25箇所において供用開始済(うち4箇所においては原状復旧済)。
 - 仮置場における、環境モニタリングデータを公表中(※1)。
- (2) 仮設焼却施設の設置状況
- 8市町村(9施設)において仮設焼却施設を設置することとしている。うち、7施設は稼働中、1施設は建設工事準備中、1施設は処理完了。
 - 仮設焼却施設における、環境モニタリングデータを公表中(※1)。

(※1) 環境省放射性物質汚染廃棄物処理情報サイト <<http://shiteihaiki.env.go.jp/>>

立地地区	進捗状況	処理能力	処理済量 (平成28年9月末時点)
川内村	災害廃棄物等の処理完了	7t/日	約2,000トン(約2,000トン)
飯舘村 (小宮地区)	稼働中(平成26年11月より)	5t/日	約2,500トン(約2,500トン)
富岡町	稼働中(平成27年4月より)	500t/日	約110,000トン(約27,000トン)
南相馬市	稼働中(平成27年4月より)	200t/日	約58,000トン(約58,000トン)
葛尾村	稼働中(平成27年4月より)	200t/日	約74,000トン(約13,000トン)
浪江町	稼働中(平成27年5月より)	300t/日	約107,000トン(約52,000トン)
飯舘村 (蔵平地区)	稼働中(平成28年1月より)	240t/日	約8,000トン(約4,200トン)
楢葉町	稼働中(試運転)	200t/日	—
大熊町	建設工事準備中	200t/日	—
双葉町	処理方針検討中	—	—
川俣町	処理方針検討中	—	—
田村市	既存の処理施設で処理中	—	—



楢葉町の仮設焼却施設
(平成28年10月)

※処理済量については、除染廃棄物も含み、()内はうち災害廃棄物等の処理済量。 2

国直轄による福島県内市町村毎の災害廃棄物等の処理進捗状況(平成28年10月28日現在)

市町村	災害廃棄物等の 仮置場への搬入済量 (平成28年9月末時点)	災害廃棄物等の処理状況
南相馬市	約43.0万トン	<p>【津波がれき】仮置場に搬入完了。</p> <p>【被災家屋等】解体撤去申請を受付済(約2,800件申請受付済)であり、解体撤去を実施中(約2,300件公告済、うち、約1,500件解体撤去済)。</p> <p>【片付けごみ】一通り仮置場に搬入完了。引き続き、回収を実施中。</p>
浪江町	約26.6万トン	<p>【津波がれき】仮置場に搬入完了。</p> <p>【被災家屋等】解体撤去申請を受付中(約1,700件申請受付済)であり、解体撤去を実施中(約980件公告済、うち、約550件解体撤去済)。</p> <p>【片付けごみ】一通り仮置場に搬入完了。引き続き、回収を実施中。</p>
双葉町	約1.4万トン	<p>【津波がれき】仮置場に搬入完了。</p> <p>【被災家屋等】解体撤去申請を受付中(22件申請受付済)であり、解体撤去を実施中(11件公告済、うち、2件解体撤去済)。</p> <p>【片付けごみ】一通り仮置場に搬入完了。引き続き、回収を実施中。</p>
大熊町	約1,200トン	<p>【被災家屋等】解体撤去申請を受付中(約120件申請受付済)であり、解体撤去を実施中(約60件公告済、うち、約10件解体撤去済)。</p> <p>【片付けごみ】一通り仮置場に搬入完了。引き続き、回収を実施中。</p>
富岡町	約11.4万トン	<p>【津波がれき】仮置場に搬入完了。</p> <p>【被災家屋等】解体撤去申請を受付中(約1,600件申請受付済)であり、解体撤去を実施中(約1,300件公告済、うち、約560件解体撤去済)。</p> <p>【片付けごみ】一通り仮置場に搬入完了。引き続き、回収を実施中。</p>
楢葉町	約11.0万トン	<p>【津波がれき】仮置場に搬入完了。</p> <p>【被災家屋等】解体撤去申請を受付済(1,243件申請受付済)であり、解体撤去を実施中(1,233件公告済、うち、約800件解体撤去済)。</p> <p>【片付けごみ】一通り仮置場に搬入完了。南部衛生センターで処理中。</p>

国直轄による福島県内市町村毎の災害廃棄物等の処理進捗状況(平成28年10月28日現在)

市町村	災害廃棄物等の 仮置場への搬入済量 (平成28年9月末時点)	災害廃棄物等の処理状況
飯舘村	約4.0万トン	【被災家屋等】解体撤去申請を受付済(約1,100件申請受付済)であり、解体撤去を実施中(約620件公告済、うち、約320件解体撤去済)。 【片付けごみ】一通り仮置場に搬入完了。引き続き、回収を実施中。
川俣町	約1.0万トン	【被災家屋等】解体撤去申請を受付済(約350件申請受付済)であり、解体撤去を実施中(約350件公告済、うち、約110件解体撤去済)。 【片付けごみ】一通り仮置場に搬入完了。引き続き、回収を実施中。
葛尾村	約4.0万トン	【被災家屋等】解体撤去申請を受付済(約360件申請受付済)であり、解体撤去を実施中(約350件公告済、うち、約120件解体撤去済)。 【片付けごみ】一通り仮置場に搬入完了。引き続き、回収を実施中。
田村市	※仮置場は 設置しない方針	【被災家屋等】被災家屋等について、解体撤去済(19件)。 【片付けごみ】既存の処理施設で処理済。
川内村	約8,800トン	【被災家屋等】被災家屋等について、解体撤去済(102件)。 【片付けごみ】仮置場に搬入完了。

※1: 帰還困難区域の災害廃棄物等は除く。

※2: 片付けごみは、帰還準備を行う住民の方の希望に応じて回収を実施している。

※3: 推定量や仮置場への搬入済量については、有効数字2桁で四捨五入。但し、10万トン以上の場合は、1,000トン未満を四捨五入。

※4: 被災家屋等の解体撤去申請受付済件数、解体公告済件数及び撤去済件数は平成28年10月14日時点での件数。解体撤去済件数は、完了検査が終了した件数。